

昭和62年10月3日

市議会議長並びに議員各位殿

飯田市議会議長

平沢与一



今年は、果樹等に若干の凍霜害が発生しましたが、農作物の
成育は順調で、稲作も作況指数107、豊作が予想されてお
ります。

ここ数年豊作が続き、又日本人の米ばなれから過剰米をかか
える政府は、ついに生産者米価を5.95%引き下げるなど、
減反政策と相まって農業経営はきびしい年を迎えました。

去る8月4日、市制施行50周年記念「子ども議会」を開催
した折にも、中学生の一般質問の中で、後継者対策など農業の
将来に関する問題を取り上げましたが、若い世代の農業への不
安感、危機感は拭い去ることの出来ない状況になってきました。

又、商業においても丘の上商店街（旧市商店街）の活性化を
どの様に進めるか。企業誘致のための積極的政策の推進など、
転機に立つ農工商業をどの様に振興し、地域活性化をはかるか
が市政の重要課題となっており、毎議会においてこうした問題
を取り上げ論議を行っております。

こうした中で、中央新幹線、三遠南信道など地域開発の大動
脈となる国家的プロジェクト事業が発表されました。この事業

は、飯伊地方発展の起爆剤となることは論をまたないところであり、その実現に郡市一体となった運動を推進しなければならないと考えております。

さて、市議会においては、議員定数31名、役員任期2年の申し合わせにより、本年5月の臨時議会において、私が議長に選出されました。下久堅出身65才、市議4期をつとめております。

会派は、明政会20名、社会クラブ5名、共産党3名、公明党2名、無所属1名で構成しています。

特別委員会は、合併（上郷町）、市立病院、美術博物館、飯田線、天竜川治水対策など5特別委員会を設置し、取り組んでおります。

特に、上郷町との合併問題は、議会が窓口となって話し合いを行い、1年10ヶ月に及ぶ協議の結果、61年12月上郷町議会は「飯田市と正式の合併協議会を設置し合併協議に入るべきである」との報告書を町長に提出し、現在町民の理解を得るための審議が進められております。

飯田市が、飯伊地方の中核都市としての役割を果たすためには、上郷町との合併が前提条件をなすものであり、今後も市・議会が一体となって合併の早期実現に努力いたす覚悟でございます。

市民生活の充実、生活環境整備のため、伊賀良運動公園、美博、桐林クリーンセンター、市立病院建設など相次ぐ大型プロジェクト事業が実施又は計画されております。

こうした一連の施設は、近代都市として当然整備されるべきものであって、その実現を強く望むところであるが、市財政の現況から、将来の財政運営の硬直化を招く恐れのあることを市理事者に指摘し、慎重な配慮のもとに計画的な予算執行を要望いたしております。

何れにしても、市制50周年を迎え、今日まで飯田市の発展に努力された諸先輩の業績を讃えとともに、新たな気持ちでこれからのまちづくりに取組む所存です。

30年後の飯田市が、果たして名実共に豊かで住みよいまちとして発展しているかどうか。大きな期待を寄せつつ、タイムカプセルに投函いたします。

なお、参考となる「子ども議会会議録と当日の写真」「昭和62年5月12日第2回臨時会のテープ」「昭和62年版議会要覧」を同封します。